

LIXIL ハイグリッドフェンス剣先タイプ

H-1800・2000用

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


警告

- 剣先部が鋭利なため、商品の取扱いには充分ご注意ください。
- 剣先部が目線より低くなる場所に設置しないでください。転倒時等において事故につながるおそれがあります。
- 高さの切詰めを行わないでください。剣先部が目線より低くなり、事故につながるおそれがあります。
- フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。


注意

- 視覚効果を目的としておりますので、人の侵入防止を保証するものではありません。
- ブロック上へは施工できません。支柱は独立基礎で埋込施工してください。規定以外の施工をした場合、基礎の強度がもたないおそれがあります。
- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。

<施工上のご注意>


注意

- 支柱の水抜き孔は、モルタル等でふさがらないでください。

■梱包明細表

【1】支柱




名称	略図	員数	名称	略図	員数
H-1800		1	H-2000		1

■ (つづき)

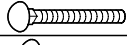
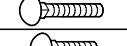
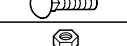


【2】 中間部取付部品セット

名 称	略 図	員 数	
		H-1800	H-2000
ストレート継手		2	2
中間バンドB		6	8
継手座金		4	4
【2-1】 M8×65角根ボルト		2	2
【2-2】 M8×35角根ボルト		4	4
【2-3】 M8×25角根ボルト		6	8
【2-4】 M8用六角ナット		12	14
【2-5】 M8用平座金		12	14


【3】 端部取付部品セット

名 称	略 図	員 数	
		H-1800	H-2000
端部・コーナー継手		2	2
端部バンド		6	8
継手座金		2	2

【3】 つづき

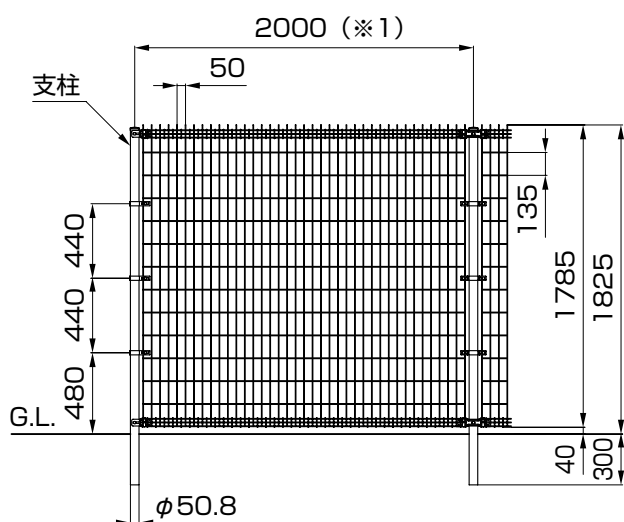
名 称	略 図	員 数	
		H-1800	H-2000
【3-1】 M8×65角根ボルト		2	2
【3-2】 M8×35角根ボルト		2	2
【3-3】 M8×25角根ボルト		3	4
【3-4】 M8用六角ナット		7	8
【3-5】 M8用平座金		7	8
取付説明書〈C346〉	—	1	1

【4】 コーナー部取付部品セット

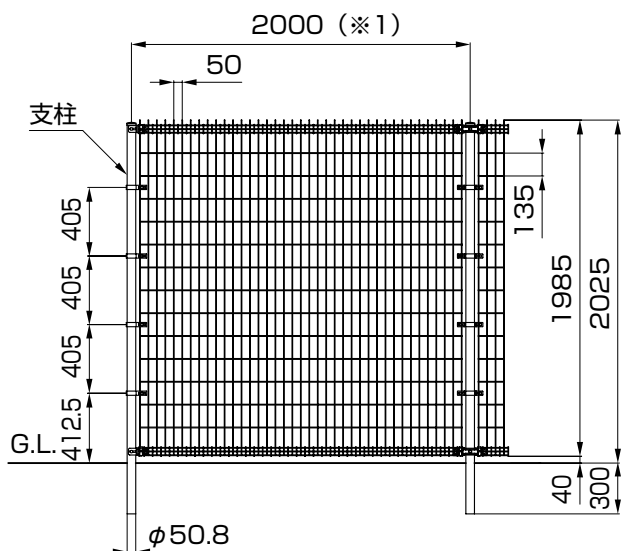
名 称	略 図	員 数	
		H-1800	H-2000
端部・コーナー継手		4	4
端部バンド		12	16
継手座金		4	4
【4-1】 M8×65角根ボルト		2	2
【4-2】 M8×35角根ボルト		4	4
【4-3】 M8×25角根ボルト		6	8
【4-4】 M8用六角ナット		12	14
【4-5】 M8用平座金		12	14

1. 姿図および基本寸法図

1-1 H-1800



1-2 H-2000



ポイント

- 支柱は芯々寸法2000mmの間隔で施工してください。(※1)
- 支柱の水抜き孔は建物側に向けてください。

2. 基礎の施工

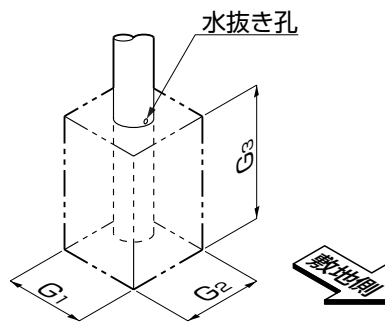


表2-1 参考基礎寸法 (※1)

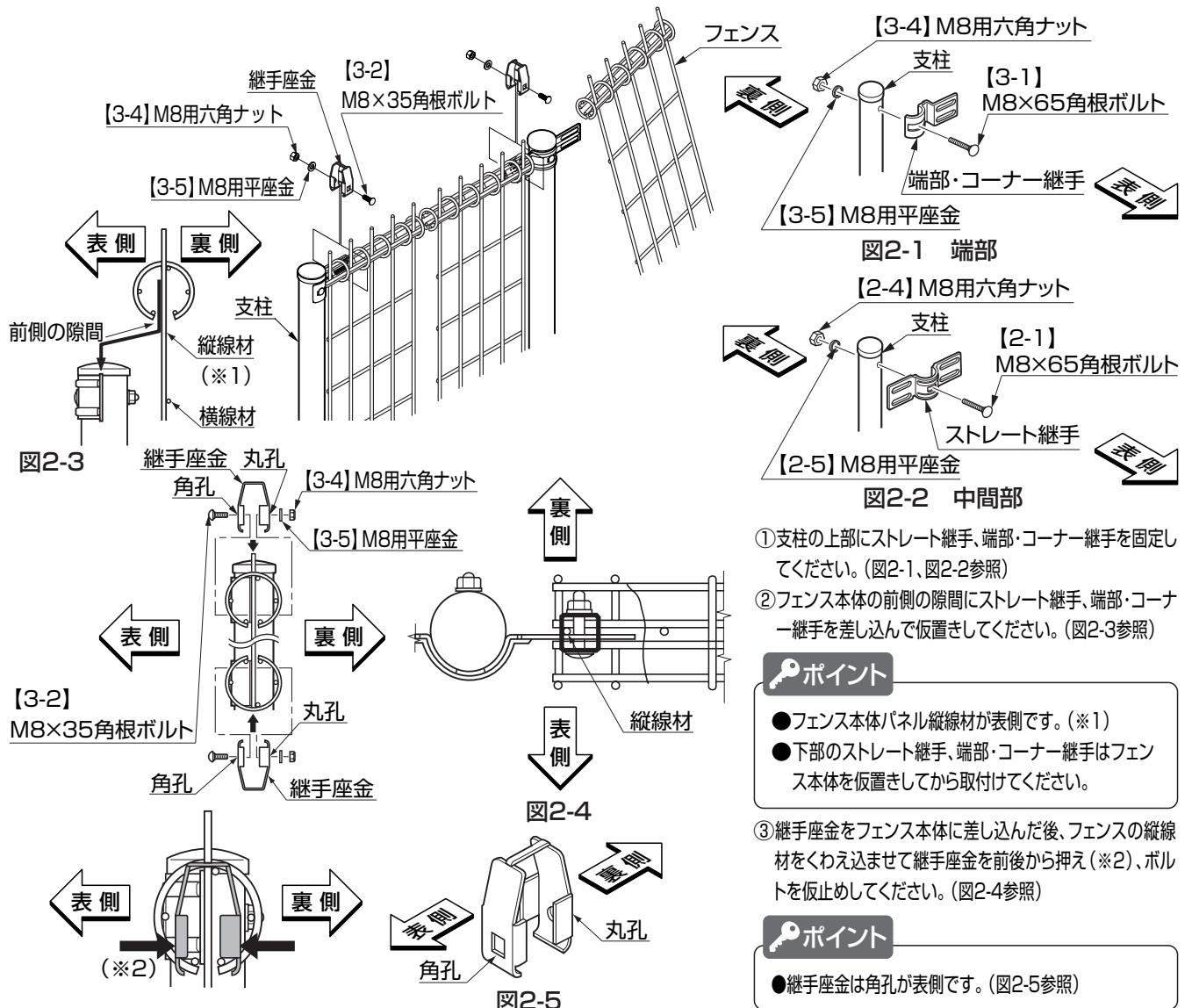
H	G ₁	G ₂	G ₃
1800	200	200	450
2000	250	250	450

- ① 開口を決め、基礎用の穴を掘り、底に栗石を入れてよく突き固めてください。
- ② 基礎を埋込み、グラツキのないよう完全に固定してください。
- ③ 向きに注意して基礎孔に柱を差込んでください。
- ④ 支柱のレベル、水平、垂直を確認しモルタルを柱脚部に流し込みよく突き固めてください。
- ⑤ モルタルが完全に硬化するまで十分に養生してください。

注意

- 独立基礎は地耐力を98KN/m²(長期)と仮定した時の参考寸法です。(※1)
- 施工時には現場の地盤に合わせて検証してください。地盤の状況によっては倒壊し、事故につながるおそれがあります。
- 支柱の水抜き孔は敷地側に向けてください。

3. 端部、中間部の施工



- ① 支柱の上部にストレート継手、端部・コーナー継手を固定してください。(図2-1、図2-2参照)
- ② フェンス本体の前側の隙間にストレート継手、端部・コーナー継手を差し込んで仮置きしてください。(図2-3参照)

ポイント

- フェンス本体パネル縦線材が表側です。(※1)
- 下部のストレート継手、端部・コーナー継手はフェンス本体を仮置きしてから取付けてください。

- ③ 継手座金をフェンス本体に差し込んだ後、フェンスの縦線材をくわえ込ませて継手座金を前後から押え(※2)、ボルトを仮止めしてください。(図2-4参照)

ポイント

- 継手座金は角孔が表側です。(図2-5参照)

3. つづき

④ フェンス下部にストレート継手、端部・コーナー継手を差込み、継手座金を仮止めし、支柱に取付けてください。
 ⑤ 支柱とフェンスの隙間を調整後、各組付ボルトを固定してください。
 ⑥ 端部バンド、中間バンドBを取付けてください。

4. 角部の施工

① 端部・コーナー継手を上下反転して組付け、コーナーの角度調整をしてください。(図4-1参照)
 ② 端部・コーナー継手を支柱上部に取付け、フェンス本体を仮置きし、端部、中間部の施工と同様に他の部品を組付けてください。
 ③ コーナー部の部品と支柱の固定は、支柱とフェンスを仮組みしてから行ってください。

5. 小口キャップの取付

ポイント

- フェンスを切り詰める場合、横線材は縦線材より40mm以内で切断してください。中間バンドBが取付かないおそれがあります。

注意

- フェンスを切り詰めした時は、必ず小口キャップを取付けてください。ケガをするおそれがあります。

① フェンスを途中で切断する場合は、縦線材より5mm以上横線材を残して切断し、必ず小口キャップを取付けてください。

取説コード
C346
 JZZ612831C
 200604A_1001
 201607D_1049